

～女性のココロとカラダに優しい医療を～ 婦人科の新しい取り組み

当院婦人科では、病気に対する**女性の心理的、かつ肉体的なストレス軽減を目的とした新しい取り組み**について、昨年より婦人科プロジェクトメンバーにて検討を行い、すでに女性外来患者様に対するストレスの少ない2つの取り組みを実施しています。

ひとつは**毎週火曜日午前中**に実施し、既に1,000名の女性外来患者様に行っているココロに優しい『**アロマ外来**』、もうひとつは**施術件数が400例を超える女性のカラダに優しい『傷の小さな手術』**です



女性のココロに優しい『アロマ外来』

日本アロマ環境協会認定「アロマセラピーアドバイザー」大隅大介医師を中心に**外来患者様が待ち時間で感じるストレスの軽減と症状の改善を目的とした待合室でのアロマセラピーを開始**。既に1,000名を超える患者様にご体験いただき、ご好評をいただいております。



婦人科待合室

アロマセラピーはその医学的効果が多くの研究や科学的検証から解明されつつあり、今後通常医療と併用され、患者様のQOL（生活の質）を高めていくと考えられる補完代替医療のひとつです。「がん補完代替医療ガイドライン」においても、患者の身体的・心理的症状の改善や自覚症状の軽減、不安、うつ症状の改善に「推奨度B（行うよう勧められる）」と結論づけられています。

今後は患者様からの好評の声をうけ、「アロマ外来」の実施日を増やしていく予定です。

～女性のココロとカラダに優しい医療を～ 婦人科の新しい取り組み

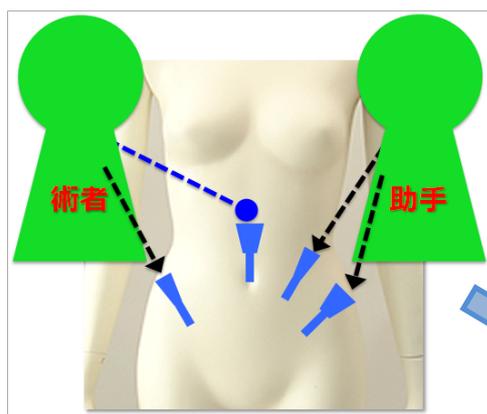


女性のカラダに優しい『傷の少ない手術』

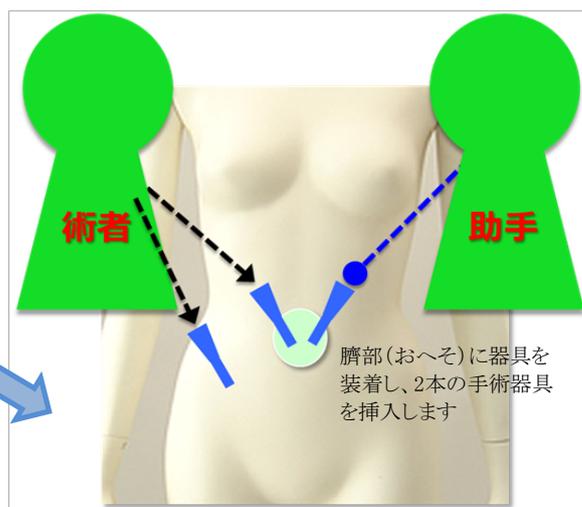
婦人科疾患の中でも特に多く、30歳以上の女性の3人に1人は患うと言われている子宮筋腫。そんな女性特有の病気を治療するために行う腹腔鏡手術（内視鏡）では、これまで臍部（おへそ）他三ヶ所を切開する手術が一般的でした。近年は一ヶ所のみで創で行う「単孔式手術」が注目されていましたが、「手術痕が大きい」「手術がしにくく、クオリティ担保が困難」などの課題がありました。

そこで、婦人科の齋藤裕司副手術部長と大隅大介医師は新たに臍一ヶ所、腹部一ヶ所のみを切開する『二孔式手術』を考案。従来方法と比較すると手術時間が短いけれど、高クオリティ。疼痛（術後の痛み）も少なく、何より傷が目立ちません。

<手術のイメージ>



従来法の切開位置



二孔式手術の切開位置
(臍1ヶ所、腹部1ヶ所)

現在、手術器具のさらなる細径化や臍部の切開を行わずに、より傷の少ない手術方法の検討を進めています。